

# 宇陀市下水道事業経営戦略（概要版）

計画期間：令和6年度～令和15年度  
(2024年度～2033年度)

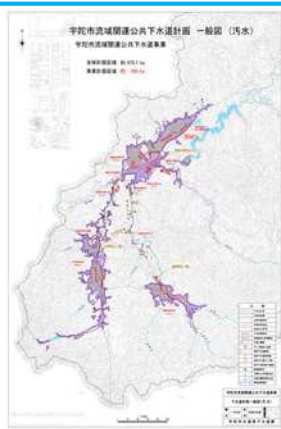
宇陀市 水道局 下水道課

## 経営戦略改定の経緯

- 本市下水道事業経営戦略は、平成31年3月（2018年度）に策定され、令和元年度（2019年度）から令和10年度（2028年度）までの10か年にわたる経営計画です。
- 当初の予定では、計画と実績値の差異が大きい場合や、前提としている事業や財政等の条件が変更となった場合、新たに考慮すべき事案が発生した場合などには、必要に応じて計画の見直しを行い、計画の精度を高めていくこととしております。
- この度、令和2年度より地方公営企業法を適用したことに加え、令和4年1月25日付総務省通知「経営戦略の改定推進について」の趣旨に従い、対応の必要が生じたため、経営戦略改定を行うこととなりました。

## 下水道事業の概要

- 下水道事業については、平成15年度に農業集落排水を公共下水道へ統合し、現在は公共下水道及び特定環境保全公共下水道の2つの事業により、下水道事業運営を行っています。
- 公共下水道は昭和51年より建設事業を開始した後、昭和62年に供用を開始しました。
- 特定環境保全公共下水道は平成2年に建設事業を開始し、平成5年に供用を開始しています。
- 公共下水道と特定環境保全公共下水道を合わせ、処理区内人口17,094人、管きよ延長は163kmです（令和4年度決算）。
- 排除された汚水は奈良県大和川上流・宇陀川流域下水道へ統合し、処理しています。



## 効率化・経営健全化の取組

- 現状は、赤字補填のための一般会計からの繰入金（基準外繰入金）で賄っておりますが、令和6年度以降においては、必要最小限の繰入れに止め、水洗化率の向上や経費の削減等により、安定的な経営を目指します。
- また、今後3～5年毎に経費回収率の状況を確認し、下水道使用料のあり方及び改築更新の優先順位等について検討していくこととします。
- 以下のとおり、計画期間における将来推計及び令和7年度に使用料の改定を行った場合（3パターン）におけるシミュレーションを行っております。

3条 収益的収入 改定なし (円)					3条 収益的収入 使用料10%増 (円)				
R5	剰余収入 214,181	その他 336,781	基準内 他会計補助金 195,440	基準外 19,658	R5	剰余収入 214,181	その他 336,781	基準内 他会計補助金 195,440	基準外 19,658
R5 収益的収入合計 796,000					R5 収益的収入合計 796,000				
R10	剰余収入 203,693	その他 309,922	基準内 他会計補助金 205,038	基準外 52,734	R10	剰余収入 224,061	その他 309,922	基準内 他会計補助金 205,038	基準外 31,949
R10 収益的収入合計 771,374					R10 収益的収入合計 771,374				
R15	剰余収入 163,373	その他 278,084	基準内 他会計補助金 217,811	基準外 72,113	R15	剰余収入 212,710	その他 278,084	基準内 他会計補助金 217,811	基準外 52,717
R15 収益的収入合計 761,382					R15 収益的収入合計 761,382				
3条 収益的収入 使用料30%増 (円)					3条 収益的収入 使用料50%増 (円)				
R5	剰余収入 214,181	その他 336,781	基準内 他会計補助金 195,440	基準外 19,658	R5	剰余収入 214,181	その他 336,781	基準内 他会計補助金 195,440	基準外 19,658
R5 収益的収入合計 796,000					R5 収益的収入合計 796,000				
R10	剰余収入 294,787	その他 309,922	基準内 他会計補助金 205,038	基準外 14,001	R10	剰余収入 305,824	その他 309,922	基準内 他会計補助金 205,038	基準外 19,842
R10 収益的収入合計 770,745					R10 収益的収入合計 820,482				
R15	剰余収入 251,985	その他 278,084	基準内 他会計補助金 217,811	基準外 14,001	R15	剰余収入 290,050	その他 278,084	基準内 他会計補助金 217,811	基準外 19,855
R15 収益的収入合計 761,382					R15 収益的収入合計 785,955				

## 今後の対応方針

- 今後、「経営戦略」を効率的かつ効果的に実施していくために、効率化・経営健全化の取組を適切に実施していきます。
- また、計画期間中は、決算に基づく事業の進捗状況の点検・評価を毎年度行い、その結果を踏まえて中間年となる令和10年度に「経営戦略」の見直しを行います。
- 加えて、「社会資本整備総合交付金等の交付にあたっての要件等の運用について」により、経費回収率の向上に向けたロードマップの経営戦略への記載等を社会資本整備総合交付金の交付要件としているため、以下のとおり、ロードマップを作成しております。

### 経費回収率の向上に向けたロードマップ

項目	令和4年度 (実績値)	令和15年度 (目標値)	概要
水洗化率 (%)	90.5%	95%以上	現状以上を目指します。
経常収支比率 (%)	101.4%	毎年度100%以上	引き続き100%以上の維持を目指します。
経費回収率 (%)	74.6%	80%	引き続き向上を目指します。

## 経営の基本方針

### ① 快適な生活環境ならびに水環境の保全

水洗化（下水道への接続）の促進を図るために、水洗化に向けた啓発活動を未接続世帯へ積極的に実施していきます。また、水洗化率を向上させて下水道使用料の増収も図ります。

### ② 持続的なサービスの提供

第2期ストックマネジメント計画を策定し、計画的な施設の維持更新に努めます。施設の定期的な保守点検を行い、維持管理の適正化に努めます。

### ③ 安定した経営の実現

令和2年度より地方公営企業法に基づく企業会計に移行しています。今後は、本経営戦略に基づき安定した経営基盤の確立に努めます。  
水洗化率の向上のため、戸別訪問、水洗便所貸付資金利子補給制度のアピール等を行い、下水道使用料収入の増収を図るほか、適切な補助金の確保、必要に応じた一般会計繰入金金の確保などの下水道使用料収入以外での増収のための施策を検討します。